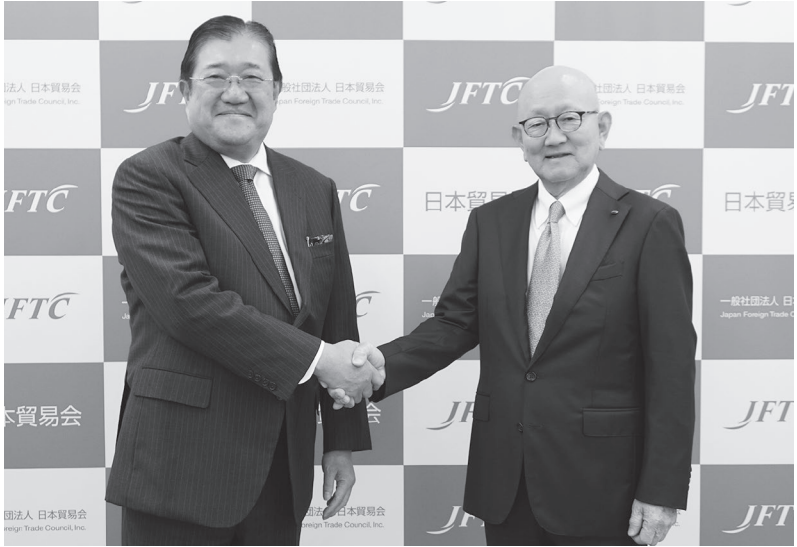


激動の時代、世界をつなぐ 商社が切りひらく未来

一般社団法人 日本貿易会

NEWS

日本貿易会の新会長に 岡藤正広氏が就任



写真左、安永竜夫 名誉会長(三井物産(株) 代表取締役会長)
同右、岡藤正広 会長(伊藤忠商事(株) 代表取締役 会長CEO)

日本貿易会は5月29日の定時総会で、新会長に伊藤忠商事の岡藤正広会長CEOを選任した。岡藤会長は同日の記者会見で、商社業界には情勢を見定める嗅覚や困難な局面でも前に進む実行力が求められるとの認識を示した上で、世界の現場で培った経験やつながりを生かし、お客様の様々な課題を商機へと転換して新たな価値を創出する商社の役割の重要性を強調した。また現場で得た知見を政策提言や具体的な行動につなげ、商社業界全体の社会的評価と存在感を一段と高めるため、尽力する考えを述べた。

世界は今、分断の時代にあるといわれています。その中でグローバルサウスと呼ばれる国々の動向が、国際社会において注目を集めています。グローバルサウス諸国の多自GDP(国内総生産)の合計は、2050年までに世界の約30%を占めるとされ、米国や中国をしのぐ規模にまで急拡大すると予測されています。こうした経済発展の背景には、継続的な人口増加に加え、都市化の進展、資源輸出の拡大、インフラ整備に伴う外国直接投資(FDI)の流入などが挙げられます。特に人口動態をみると、22年にはインドが中国を抜いて世界最多人口国となり、約14億人に達しました。50年には、世界人口の約7割がグローバルサウスに集中すると見込まれています。こうした中、商社は成長するグローバルサウスの多様なニーズをビジネスチャンスと捉え、電力・インフラ・再生可能エネルギー・鉱物資源・食品・医療など多角的な事業展開を進めています。ODAと民間投資を組み合わせた官民連携モデルも展開しており、公共性と事業性を兼ね備えた長期的な協業モデルとなっています。持続可能性とSDGsの観点からも、都市化が進むグローバルサウスとの共創は重要であり、商社は経済発展と持続可能性の両立を目指したプロジェクトを展開することで、相手国の成長に資する形で貢献を続けています。

なぜ、いまグローバルサウスなのか ——商社が挑む新たなフロンティア

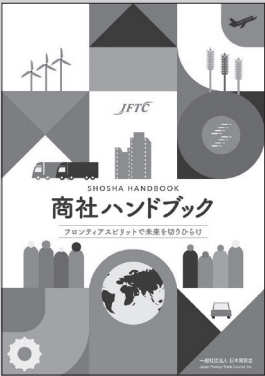
■内なる国際化

——多様化するグローバルな人材活用

事業環境が急激に変化し複雑化する中、商社活動の発展はグローバルな人材活用の推進に支えられてきました。かつての商社は日本から海外市場に製品を売り込む「貿易商」としての役割が中心であり、日本人社員を中心とした人材構成でも業務は十分に機能していました。しかし1990年代以降、事業投資中心のビジネスモデルへの転換が進む中で、現地の政治・経済・文化への深い理解や、継続的なパートナーシップの構築が求められるようになり、とりわけ2000年代以降の新興国市場の台頭や、資源・インフラ・消費関連分野への進出の加速に伴い、現地の商習慣や文化に精通した人材が事業成功の鍵を握るようになったのです。商社にとって、戦略

ダイナミックで奥深い商社の活動を
分かりやすく紹介!

商社ハンドブック



過去から現在、そして未来を展望した商社の事業活動やビジネスを知り、商社の魅力と可能性を身近に感じていただくきっかけとなる一冊です。

日本貿易会ウェブサイトより
全文閲覧いただけます



<https://www.jftc.or.jp/publications/handbook/>

広告

Enriching lives and the world

未来を見据えて、皆さまとともに挑み続けていく。
それは、豊かな未来を創るための挑戦の積み重ね。

皆さまとともに構想し、創り上げることで
未来をほんとうの豊かさで満たしていきます。



住友商事

Enriching lives and the world



ひとりの商人、無数の使命

ITOCHU

www.itochu.co.jp/

時には、誰も行かない道を。

新しい未来は、今までと違う場所で見つかるものだから。
どんな道も恐れずに。—— 挑戦し、続ける。

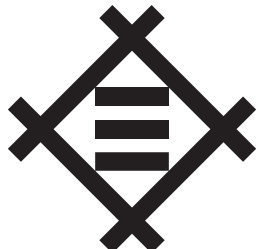


www.mitsubishicorp.com

世界とひとりのために。

三菱商事

すべては、
志からはじまる。



MITSUI & CO.

三井物産株式会社 www.mitsui.com



未来の子供たちに
より良い地球を届ける

豊田通商